

平成27年11月13日

林 野 庁

関 東 森 林 管 理 局

# カラマツ<sup>だん</sup>断<sup>かん</sup>幹現地検討会

－カラマツ採種園の整備と種子の安定供給に向けて－

林野庁 関東森林管理局では、カラマツ断幹現地検討会を実施します。

## 【概 要】

近年、森林資源の充実に伴い、資源を有効利用するための伐採が進みつつありますが、伐採後に再造林を行うことは次世代の森づくりのために欠かせません。このような中、群馬県内では主にカラマツ苗木を生産するための種子が供給不足となっていることから、昭和36年に造成された田代第一採種園(国有林内)を今年度から再整備することとしました。今後、当採種園においては、カラマツ種子の供給を行うとともに、全国的にも事例が少ないカラマツの「断幹」による着花促進の知見を得ることを目的としており、今回は、その効果的な作業方法等について検討するものです。

- 1 日 時 平成27年11月19日(木) 13:00～15:00
- 2 場 所 群馬県吾妻郡嬭恋村大字田代字森影国有林210イ林小班  
田代第一採種園
- 3 参加者 群馬県林業試験場、岩手県林業技術センター、長野県林業総合センター  
群馬県山林種苗緑化協同組合、群馬県内林業事業体等  
森林総合研究所林木育種センター、中部森林管理局、関東森林管理局
- 4 内 容 (1)田代第一採種園の整備計画について  
関東森林管理局 森林整備課  
(2)旧侍浜カラマツ採種園(岩手県内の国有林)における断幹等の事例紹介  
岩手県林業技術センター  
(3)断幹作業のデモンストレーション  
下仁田森林組合  
(4)ディスカッション(今後の採種園整備について)
- 5 主催者 関東森林管理局

お問い合わせ先 林野庁 関東森林管理局 森林整備課

担当者:企画係 平野 辰典(ひらの たつのり)

TEL :027-210-1183

FAX :027-210-1185

メール :tatsunori\_hirano@rinya.maff.go.jp



# 断幹の目的と作業方法



・チェーンソー等で切り落とす。  
・樹勢の良い枝を3本程度残す。

・株立ちしている枝までの高さは約5～6m  
・高所作業車及び梯子を使用する。

## 1 目的

光環境の改善と、着花しやすい樹形に誘導し着花を促す。

(カラマツは事例が少なく分からないことが多い)

## 2 作業方法

高所作業車や梯子等を使用し、株立ちしている枝の中から、樹勢の良い枝を3本程度残し、それ以外は切り落とす。

残した枝から出ている二次枝の角度が、斜め上から水平になる高さ付近で断幹する。

## ※参考文献

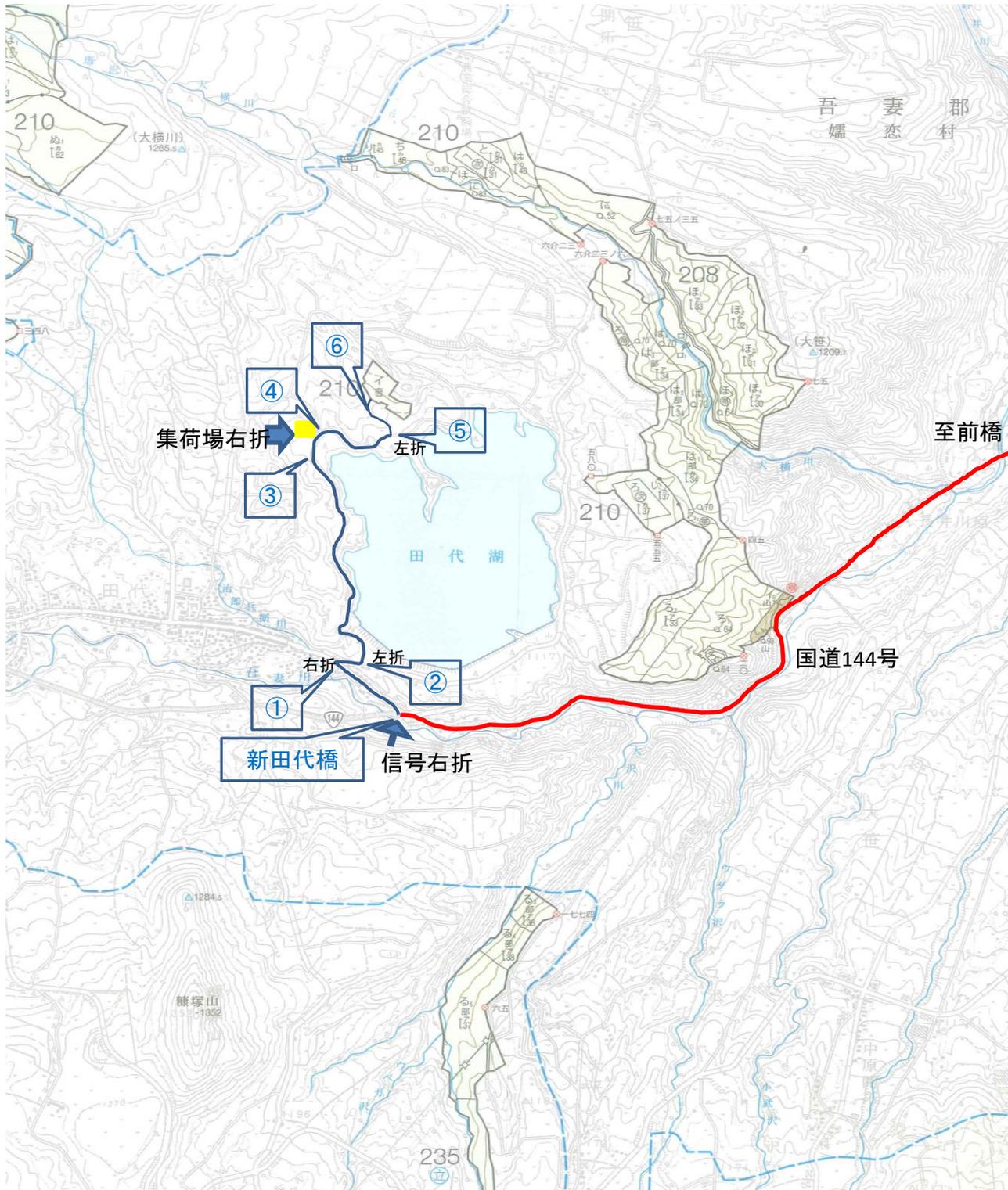
蓮田 英俊 玉城 聡(2015)森林遺伝育種第4巻

「カラマツ種子増産に向けた国有林のカラマツ採種圃再生利用と着花促進試験の取り組み」

# 現地までのアクセス①



## 現地までのアクセス②



①右折(角度あり)



②田代湖看板を左折



③右折



④右折



⑤左折(ここから幅員が狭く不陸あり)



⑥一本松を右折

